

令和元・2年度 南九州市教育委員会研究指定 南九州市立松ヶ浦小学校研究公開

活気あふれる主体的で対話的な 深い学びのある授業づくり

～見方・考え方を生かし働かせる生活科，社会科の学習指導の工夫～



令和2年12月4日(金)

研究主題について

研究主題

活気あふれる主体的で対話的な深い学びのある授業づくり
～見方・考え方を生かし働かせる生活科・社会科の学習指導の工夫～

主題設定の理由

これまでの
研究の課題

教師の願い

本校の
子供の実態

教育の動向

- 特別活動で身に付けた活気ある話合いを行うスキルを生かし、自他の考えを磨き合う対話活動の充実を図ること
- 知識等を比較したり相互に関連付けたりしながら有機的に理解を深めること
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業の改善を図ること

目指す子供の姿①

めあてを自分事として捉え,予想や調べる視点をもつことができる子供

なぜ,人工林は真っすぐに伸びた木なのかな。

手入れなどの森林の管理をする林業ってどんな仕事をしているのかな。



主体的な学び



目指す子供の姿②

ガイド役を中心に、一人調べでもった考えを伝え合いながら、互いの考えを広げたり深めたりする子供

自分の考えを発表してください。

ぼくと同じ考えだね。自信がもてたぞ！

私は～な工夫があります。

対話的な学び



目指す子供の姿③

自分の予想と調べた結果を比べたり，調べて分かったことを使って新しい問いの解決をしたりすることで学びを深める子供

2つのグラフを関連付けると，どんなことが言えるかな。

林業で働く人の人数が減っているのは，輸入が増えたからじゃないかな。



深い学び

研究計画

年次	研究内容
一 二 年 次	<p data-bbox="212 456 865 735">子供たちの思考をつなぎ、理解を深める資料活用の工夫</p> <p data-bbox="212 799 865 1149">複式指導における社会科と生活科の学習指導過程の確立と学習内容の精選</p> <p data-bbox="898 392 1130 1206">生活科のスタートカリキュラムや異学年の指導の重点化の工夫</p> <p data-bbox="1168 435 1864 756">見方・考え方を発揮するぴかぴかタイムの充実と、次につながる振り返りの工夫</p>
一 年 次	<p data-bbox="1168 821 1864 1149">見方・考え方を発揮する「ぴかぴかタイム」の設定とガイドの育成</p> <p data-bbox="227 1220 1819 1339">目指す子供の姿の明確化</p>

研究の重点

- 1 複式指導における社会科と生活科の学習指導過程の確立と学習内容の精選
- 2 見方・考え方を発揮する「ぴかぴかタイム」の設定と効果的な資料活用の工夫とガイドの育成
- 3 生活科を中心としたスタートカリキュラムの作成や、気付きの質を高める振り返りの工夫等

見方・考え方①

見方・考え方とは

【見方】・・・対象のどこに着目するか。(目の付けどころ)

【考え方】・・・対象についてどのように考えるか。



見方・考え方②

社会的な(社会的事象の)見方・考え方とは

見方

対象のどこに着目するか
(目の付けどころ)

位置や空間的な広がり

分布, 地域, 範囲等
(主に3~6年)

時期や時間の経過

起源, 変化, 継承等
(主に4, 6年)

事象や人々の相互関係

工夫, 関わり, 協力等
(主に3~6年)

考え方

対象についてどのように考えるか

- 比較・分類
- 地域の人々や国民の生活と関連付け
- 総合

深い学びへ

見方(視点)例～社会科～

目指せ！社会科博士！

☆ いろいろな見方(視点)で社会を考えてみよう。

見方 レベル	時期や時間 	場所や位置 	人や事象 
4	どうすればよいか(考え)		
	短時間で作業を進めるためには、 どうすればよい のだろうか。(5年)	どうすれば すぐに消火活動ができるだろうか。(3年)	課題を解決するためには、 どうすればよい のだろうか。(全学年)
3	なぜ(理由)		
	なぜ 、飲料水は安定して供給されているのだろうか。(4年)	なぜ 、工業は海沿いで盛んなのだろうか。(5年)	なぜ 、野井倉甚兵衛は用水路を作ったのだろうか。(4年)
2	どのように(方法・様子)		
	まちの様子は どのように 変化したのだろうか。(3年)	原料・材料は どのように して運ばれてくるのだろうか。(5年)	幕府は、 どのように して世の中を安定させたのだろうか。(6年)
1	いつ(時間), どこで(場所), だれが(人物), 何が(事物)		
	日本の米作りは いつ から始まったのだろうか。(6年)	自動車は どこで つくられているのだろうか。(5年)	だれが 伝統行事を受けついでいるのだろうか。(4年)
			スーパーには 何が 売っているのだろうか。(3年)

見方(視点)例～生活科～

せいかつか めいじん！

① かんさつしよう！

- ・いろは？ かたちは？ ・大きさは？ ・ながさは？
- ・うごきは？ ・音は？ ・手ざわりは？ ・においは？
- ・まえとなにがちがうかな？



② つくってあそぼう！



- ・どんなくふうがあったかな？ ・どんなコツがあったかな？
- ・きろくはどうかな？ ・ともだちとどこがちがうかな？

③ じぶんやおともだち、かぞくやちいきをしろ！

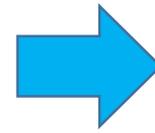
- ・せいちょうしたよ！ ・できるようになったよ！
- ・ともだち（かぞく）っていいな！ ・いつもありがとう！



見方・考え方を「生かす」「働かす」

見方・考え方を「**生かす**」と「**働かす**」とは

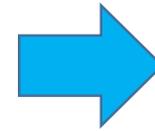
生活科の教育目標



見方・考え方を
生かす

身近な生活に関わる見方・考え方を**生かし**・・・(生活科)

生活科以外の各教科の教育目標



見方・考え方を
働かす

造形的な見方・考え方を**働かせ**・・・(図画工作科)

探究的な見方・考え方を**働かせ**・・・(総合的な学習の時間)

社会的事象の見方・考え方を**働かせ**・・・(**社会科**)

社会科の学習指導過程

第5学年 『私たちの生活と森林』 4/6

つかむ・見通す

人工林の様子は、どうなっているのだろうか。

林業で働く人は、どのような仕事をしているのだろうか。

予想・調べる視点・問題解決

林業は様々な仕事をしているんだな。

林業で働く人の数は減っていて、外国からの輸入が増えて
いるんだな。

ぴかぴかタイム

林業では、様々な仕事をしていて、人数の減少などの課題がある。

日本の林業について初めて知ることが多かったな。林業に
ついてもっと詳しく知りたいな。

振り返る

次の学びへつなぐ

生活科の学習指導過程

第2学年 『あしたへジャンプ』 16/27

意欲をもつ

- これまでの学習を振り返る。
 - ・ いろいろなことができるようになったね。
 - ・ みんなにも見せたいな。

「マイストーリー」発表会を大成功させる作戦を立てよう。

活動する
関わる

- 誰を招待するか考える。
 - ・ お母さんやお父さんをしょうたいしたいな。
 - ・ ちいきの人にもみてほしいな。

- 発表会をレベルアップさせ、招待した人が楽しめる方法を考える。
 - ・ もう少し大きな声で発表しよう。
 - ・ みんなの方を見て発表しよう。
 - ・ 作ったすごろくをみんなですててみたらいいかも。

- 実際に活動する。
 - ・ 二重跳びできるよ。見てて。

ぴかぴかタイム

み(見つけたこと) …一緒にすると楽しいことを見つけたよ！
が(がんばったこと) …二重跳びの練習がんばったよ！
く(工夫したこと) …できるだけみんなの方を見て発表したよ！

振り返る
みがく

- 次の学びへつなぐ。
 - ・ よし！発表会を大成功させるぞ！

ガイド育成のポイント

教師の手立て

- 学習指導過程に沿ったガイドの進め方を作成し、輪番で経験を繰り返させる。
- ガイドが問い返しや根拠を聞き返しながら黒板に記録していくようにさせる。
- ホワイトボードや短冊、活動用の資料等を活用し、子供たちの考えを見やすくすることで、ガイドを中心に自分たちで分類・整理ができるようにさせる。
- 調べ学習等に要する時間を設定・管理し、全体の進捗状況をみながら適切な言葉かけができるようにさせる。

ガイド育成のポイント～学習の進め方～

社会科ガイド学習の進め方（高学年）



学習過程	主な学習活動	ガイドの学習の進め方
つかむ・見通す	資料・絵・図の読み取り	<ul style="list-style-type: none"> 資料（絵・図）から分かることをノートに書いてください。（時間は○分間です。） ノートに書いたことを発表してください。
	めあての確認	<p>【めあてを立てる場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてを立てます。何かよいめあてを立ててください。 <p>【めあてが決まっている場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> めあての確認をします。さんはいい。（みんなで読んで確認してください。） めあてをノート（ワークシート）に書いてください。
	予想を立てる	<ul style="list-style-type: none"> めあてに対する予想を立ててください。 めあてに対する予想を発表してください。
調べる・広げる	調べる	<p>【調べる視点がある場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べる視点に沿って教科書や資料集で調べましょう。調べる視点は「○○」、「○○」、「○○」です。調べたことはノート（ボード・短冊）に書いてください。（時間は○分間です。） <p>【調べる視点がない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集で調べましょう。調べたことはノート（ボード・短冊）に書いてください。
	出し合う	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを発表してください。 <p>【ボード・短冊・黒板で出し合う場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことをボード（短冊・黒板）に書いてください。 調べたことを話し合しましょう。
	広げる	<ul style="list-style-type: none"> 出し合った意見をまとめましょう。 となりの人と話し合ってください。 <p>【ペアで話し合う場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合った結果を発表してください。
	まとめ	<p>【発表例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 僕は（私は）、～と予想していたけれど、実際は～だったので、～と思いました。 僕は（私は）、予想と合っていたけれど、～ということは初めて知りました。 <p>【自分たちでまとめをする場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習したキーワードを使ってまとめをしましょう。

本校の学習指導過程に沿ってガイド学習の進め方を作成

予想を立てる	<ul style="list-style-type: none"> めあてに対する予想を立てましょう。（時間は○分間です。） めあてに対する予想を発表してください。
調べる	<p>【調べる視点がある場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べる視点に沿って教科書や資料集で調べましょう。調べる視点は「○○」、「○○」、「○○」です。調べたことはノート（ボード・短冊）に書いてください。（時間は○分間です。） <p>【調べる視点がない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集で調べましょう。調べたことはノート（ボード・短冊）に書いてください。
出し合う	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを発表してください。 <p>【ボード・短冊・黒板で出し合う場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことをボード（短冊・黒板）に書いてください。 調べたことを話し合しましょう。○○さんからどうぞ。

主体的に学習を進められる。

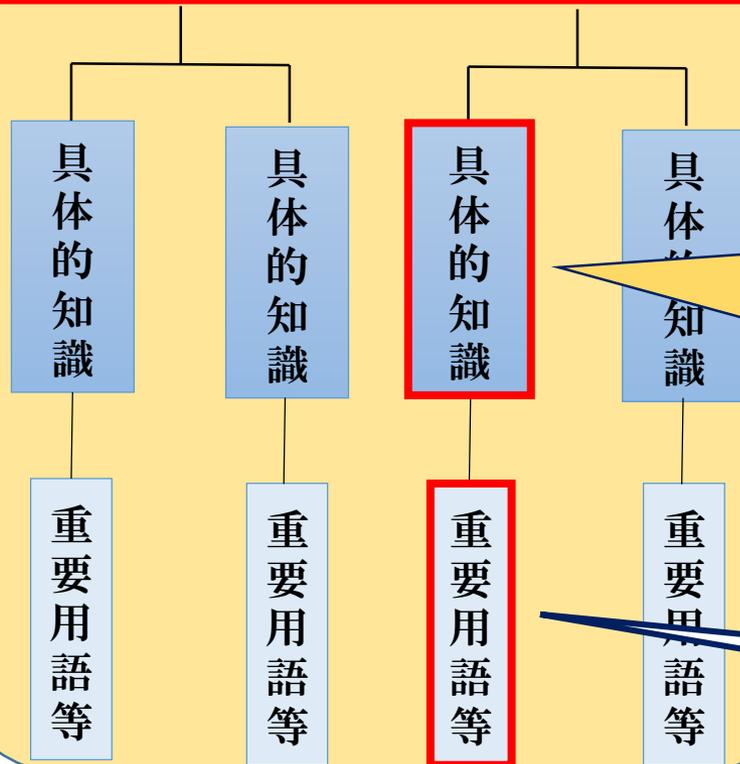


知識の構造図の活用

学習内容を構造的に捉え、内容の精選を図る。

第5学年「私たちの生活と森林」4/6を明確化・構造化した図

概念的知識(中心概念)



日本の国土には豊かな森林があり、国土の保全や木材の供給などの重要な役割を果たしている。近年、国産木材が見直されてきたため林業従事者が少しずつ増加している。

京都市では、北山杉という伝統的な木材を生産している。林業に従事する人々は、何十年もかけて木を育てている。人工林は森林資源として木材に活用されてきたが、最近では木材の多くが外国から輸入されている。しかし、国産木材は近年見直されている。

社会的事象に関する「何が」「だれ」と

・北山杉 ・人工杉 ・林業

ぴかぴかタイム～社会科～

社会科における「ぴかぴかタイム」のイメージ

めあてに対する
予 想

- ・ 予想と結果の**比較**
- ・ 事象の**関連付け**
- ・ **新たな問い**など

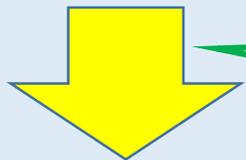


知識・考え方の
更新
広がり
深まり
新たな **疑問**

ぴかぴかタイム～生活科～

生活科における「ぴかぴかタイム」

生活科における深い学び = 気づきの質の高まり



気づきを無自覚から自覚へ

気づきの質を高める『振り返り』の充実

み ・ ・ ・ みつけたこと
が ・ ・ ・ がんばったこと
く ・ ・ ・ くふうしたこと

自身の活動を『みがく』で振り返り、成長した自分に気づく。

友達のがんばりから気づく。

学習指導過程に沿った板書

南九州市
スタンダードより

③ 本時の学習問題(全体での共有)設定

① 情報の読み取り
学習問題につながる資料の提示

④ 予想・視点・見通しの設定

② 問いの明確化
子供からの疑問
子供からの気付き

⑤ 資料で調べたこと,
事実を基に考えたこと
や話し合ったこと

⑥ 新たな情報
子供たちの
情報を焦点化
したり一般化し
たりする。

⑦ 本時のまとめ(めあての振り返り)

⑧ 次時へ
のつながり



板書例～生活科～



あしたへジャンプ

めあて

「ここにストーリー」はひょう会を
大せいこうさせるためには、どうす
ればいいのかよ。

どことなくふうができるかな

かみ 紙ひょうき

ゆうど あやとび

れお 元気にあいつ

かれん まえとび

ひとむ うしろとび

はるひろ きかいまのこを
ひょうする

じゅうめい にじゅうとび

のあ ピアノ

ふりかえり

- ・じっさいにやってみること。
- ・にじゅうとびがとべる。
- ・うしろとびをがんばった。

あつめたこと

がんばったこと

くふうしたこと

つき がんばりたいこと

- ・元気がは、ひょうしたい。
- ・ひんかからないうちにしたい。
- ・きかいまのこをおしえたい。
- ・しょうたいじょう、おんしやう

〈だれに〉

- ・先生たち(おくの先生、校長先生、
せせい ていとう先生)
- ・ほかの学年の人たち 池上先生、ほく先生
- ・おうちの人たち できるうちは
なホとゆうこと
- ・地いきの人
おじいちゃん、おばあちゃん

- ・大きな声で。
- ・はきははきと。
- ・前をむいて。
- ・しせい。
- ・見えるようにする。
- ・見せる。
- ・ピアノをひく。
- ・なわとび。
- ・ボランティア。

↑

じっさいに
やってみる

資料活用の工夫①

社会科における「資料」とは

間接的に観察したり、体験したりできるように教育的に配慮したものが、社会科における「資料」である。

有効活用

社会的事象に対する興味・関心の高まり

思考力・判断力の高まり

具体的な手掛かり

深い学びへ



資料活用工夫②

社会科における資料活用工夫

第3・4学年	第5学年	第6学年
必要な情報を読み取る。		必要な情報を 的確 に読み取る。
	複数の資料を 関連付けて 読み取る。	
		特徴に応じて 読み取る。
全体的な傾向をとらえる。		
必要な資料を収集する。	必要な資料を収集したり 選択 したりする。	必要な資料を収集・ 選択 したり 吟味 したりする。
	資料を整理したり 再構成 したりする。	

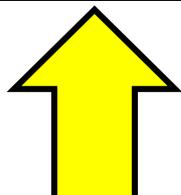
資料が子供の思考の流れに沿い、学びに役立つために、学級の子供の実態に応じて調整する。

スタートカリキュラム①

学びと育ちをつなぐ「**スタートカリキュラム**」の作成

入学した子供が、**安心し自信**をもって成長し、小学校の学びとして歩いていくようになる。

幼稚園教育要領参照



生活科を中心に教育課程全体を視野に入れた

「**10の姿**」をもとに実態を理解し、幼児期に培った学びと育ちを自然に発揮できるようなカリキュラムを！

小学校1年生の「ゼロからのスタート」という考え

スタートカリキュラム～関連単元一覧～

A年度

単元配列

各教科・領域	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
国語	いいてんき おはなし たのしいな	あつまって はなそう えんぴつと なかよし	どうぞ よろしく	なんて いおうかな	こんなもの みつけたよ	うたに あわせて あいうえお
算数	ぼく ようたん	10までのかず			いくつ	

さあ はじめよう

って そう	えんぴつと なかよし	どうぞ よろしく	なんて いおうかな	こんなもの みつけたよ
10までのかず				
せいかつ	すたあと			
まノまノ	まノまノ			

生活科を中心に小単元の学習活動に各教科を
合科的・関連的に実施

スタートカリキュラム～週案～

週案形式①

入学式からある程度の期間の
松ヶ浦小独自のスタート
カリキュラム(時間割)を作成

案A (第1週)

ねらい：準備や片付けの仕方を教えてもらいながら覚えよう。

日にち	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
行じ	入学式 始業式		身体計測 視力・聴力検査	心臓検診 (1年生)		
朝	にもつのじゅんぴ・きがえ・かたづけのしかた など					
1	教科	ぎょうじ	がっきゅうかつどう・こくご	さんすう	さんすう	おんがく
	1ねん	しぎょうしき	きょうから1・2ねんせい がっきゅうのきまり としこしょうかい	ほくじょうたんけん	ほくじょうたんけん	ゴーアンド ストップ
2年			ひょうとグラフ	ひょうとグラフ		
2	教科	ぎょうじ	がっきゅうかつどう・せいかつ	こくご	こくご・すこう(1年)	こくご
	1ねん	にゅうがくしき	がっこうはたのしいな ときどきわくわく1ねんせい トイレ・すいどう	いいてんき おはなしたのしいな じゅんばんにならぼう	いいてんき すきなかたちいろいろなあに	あつまってはなそう ふきのとう
2年		くつばこ・かぼんだな のつかいかた		ふきのとう		
3	教科	がっきゅうかつどう	おんがく	たいいく・せいかつ	せいかつ・すこう	さんすう
	1ねん	入学にあたって 2年生のスタート	どんなうたがあるかな きせつのうた・こうか	ゆうぐのあそび ならびかた こんなことできる ようになったよ	いっしょに あそぼう(生) すきなかたちや いろいろなあに(図)	10までのかず ひょうとグラフ
2年						
4	教科		せいかつ	せいかつ		こくご
	1ねん		きゅうしよく のじゅんぴ	がっこうのこと がしりたいな		えんぴつとなかよし ふきのとう
2年						
5	教科		がっきゅうかつどう	こくご	さんすう	どうとく
	1ねん					

スタートカリキュラム～週案ポイント～

週案形式②

初日～第2週程度の基本的な動き

日にち		1日目	
行し		入学式・始業式	
朝		にもつめじゅんひ・さげかたづけのしめと など	
1.	教科	ぎょうじ	
	1ねん 2年	しぎょうしき	
2.	教科	ぎょうじ	
	1ねん 2年	にゅうがくしき	
3.	教科	がっきゅうかつどう	
	1ねん 2年	入学にあたって、2年生のスタート	
4.	教科		
	1ねん 2年		
5.	教科		
	1ねん 2年		

日にち		2日目	
行し			
朝		にもつめじゅんひ・さげかたづけのしめと など	
1.	教科	がっきゅうかつどう・こくご	
	1ねん 2年	目ようから1・2ねんせい がっきゅうのきまりと じこしょうかい	
2.	教科	がっきゅうかつどう・せいかつ	
	1ねん 2年	はっこうせいのし センターワーク トイ・まじどう くつばこ・かばんなどのおかりかた	
3.	教科	おんがく	
	1ねん 2年	どんなうたがあるかな きせつこのうた・こうが	
4.	教科	せいかつ	
	1ねん 2年	きゅうしよくの じゅんぴ	
5.	教科	がっきゅうかつどう	
	1ねん 2年	2年生をわかえるかいどう	

1年生
保護者と
一緒に教室
や学級活動
をする。配
布物や提
古物の確認
をする。

2年生
管理職と
一緒に学級
活動をする。
学級担任が
新入生との
学級活動が
終わり次第、
管理職と交
代し、2年生
と担任で学
級活動をする。

給食の流れや準備、配膳の仕方を説明し、給食者の着方や盛り方を2年生に説明してもらいながら指導をする。その他、給食台やお盆の準備等一緒に行う。

第1週

◎国語◎

図工や学級活動と関連づけて、1年生は特に1時間を3分割や2分割にして、授業を行っていく。

2年生と1年生の学習内容によっては、交流できるようにしたり、一緒に学習をしたりする。

「さあ はじめよう」は、学級の実態や学校の教育課程等（行事）によっては、内容を入れかえを行って学習する。

◎図工◎

生活科やその他の教科と関連づけて、1時間を分割して学習を進める。

◎生活科◎

教科と関連づけて行う場合は、2年生をお

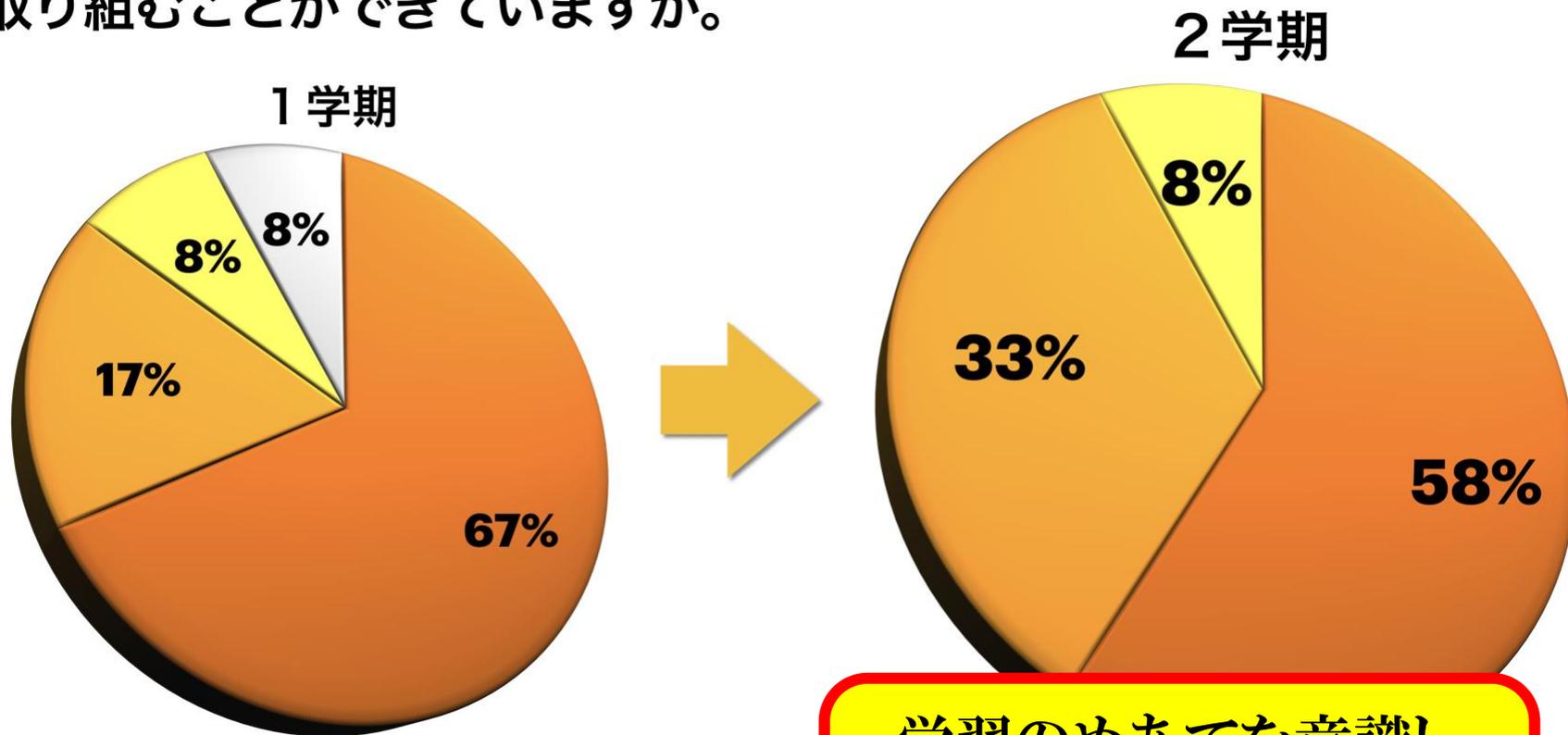
スタートカリキュラムの課題

【複式学級スタートカリキュラム課題】

- 年度当初の2年生(復習・手本)
- 同単元指導をする教科の進め方
(A・B年度)
- 学年に応じた目標と評価規準の設定
- 職員の協力体制(管理職を含む)
- 他学級との兼ね合い
(特別支援学級・基礎時間割)

研究のまとめ～子供の変容①～

めあてに対して予想を立てたり、調べる視点を考えたりしてから学習に取り組むことができますか。



● 4 ● 3 ● 2 ● 1

(4 できている → 1 できていない)

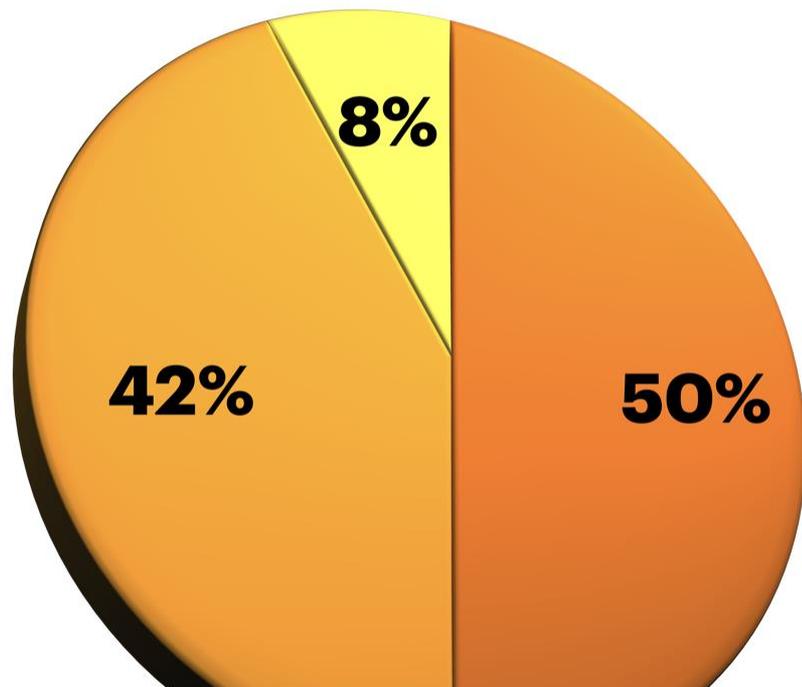
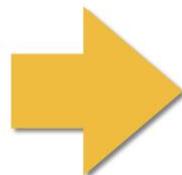
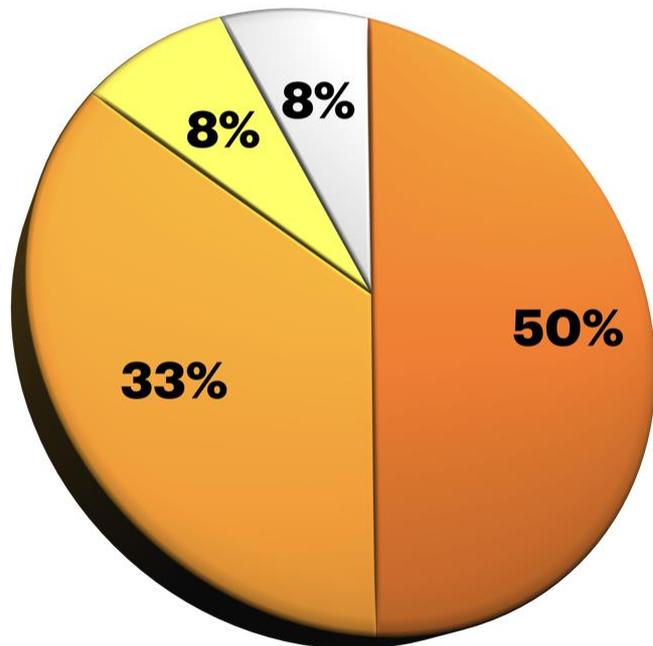
学習のめあてを意識し、自分事として学習活動に取り組むようになった。

研究のまとめ～子供の変容②～

社会科の授業では学習の流れを意識していますか。

2学期

1学期



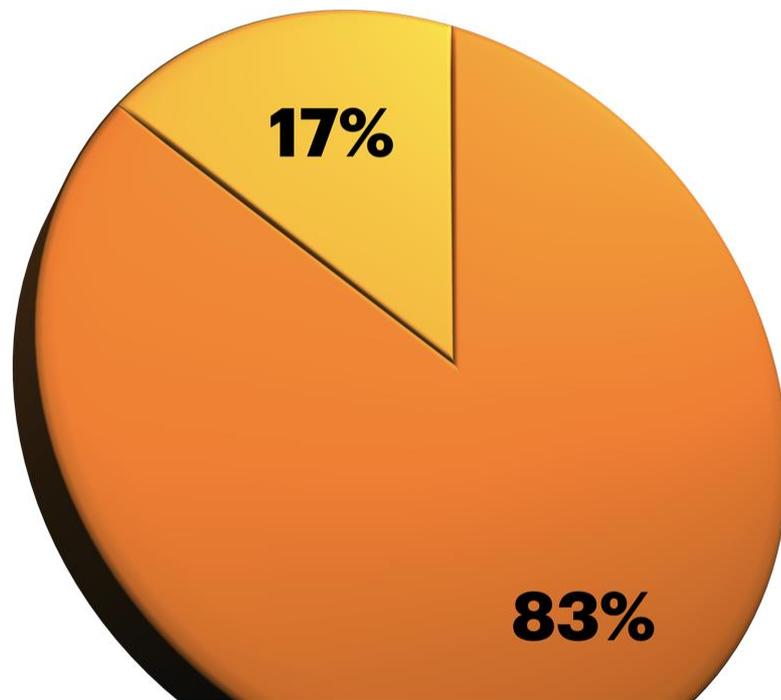
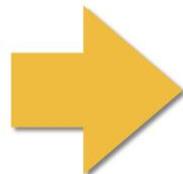
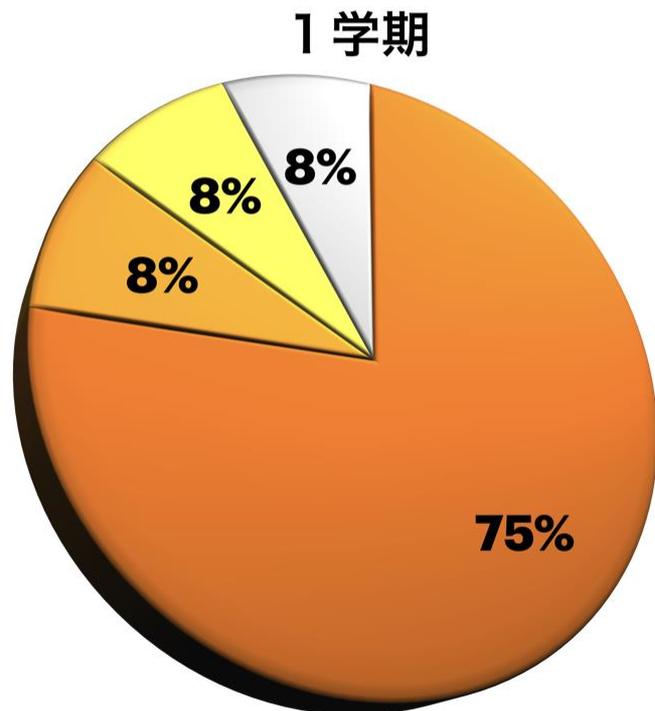
● 4 ● 3 ● 2 ● 1

(4 意識している → 1 意識していない)

ガイドを中心に学習の流れを意識して、学習に取り組むようになった。

研究のまとめ～子供の変容③～

ぴかぴかタイムでは、自分の考えを伝えたり、友達のことを聞いた
り、やる気をもって取り組んでいますか。



● 4 ● 3 ● 2 ● 1

(4 取り組んでいる → 1 取り組んでいない)

「ぴかぴかタイム」等で、自分の考
えや友達のことを伝え合い、対話
的な学び、深い学びにつながった。

研究のまとめ～成果～

- 本校独自の社会科の学習指導過程を作成し、子供たちが見通しをもって学習を進められるようになった。
- 深い学びにつながる「ぴかぴかタイム」を位置付けたことで、自分なりの見方・考え方で社会的事象を捉えることができるようになった。
- ガイドの育成や、時間配分、指導のポイントなどを、研究授業を通して明らかにし、指導に生かすことができた。
- 幼児期に使った学びと育ちを自然に発揮できるように、本校独自のスタートカリキュラムを作成することができた。

研究のまとめ～課題～

- 複式学習指導の研究と実践の継続
(内容の精選, 時間配分, 間接指導の充実)
- 社会科・生活科の学習指導の充実
(資料活用, ぴかぴかタイム, 振り返り, 教師の問い等)
- スタートカリキュラムの効果的な活用と
幼・保・小・中の連携の在り方

ご静聴ありがとうございました。

